

樞密院會議筆記

一 衆議院議員選舉法中改正法律案帝國議會へ提出ノ件
一 昭和十三年法律第八十四號中改正法律案帝國議會へ提出ノ件

一 公式令中改正ノ件
一 各省官制通則中改正ノ件

一 第一復員省官制
一 第一復員官及第二復員官ノ任用等ニ關スル件

一 第二復員省官制
一 皇族身位令中改正ノ件

一 皇室儀制令中改正ノ件
一 皇族就學令中改正ノ件

一 皇族遺言令中改正ノ件
一 皇室裁判令中改正ノ件

昭和二十年十一月二十七日(火曜日)午後二時十
分開議
聖上臨御

出席員

平沼議長

清水副議長

親王

宣仁親王

二番

崇仁親王

三番

大臣

幣原内閣總理大臣 四番

米内海軍大臣 五番

岩田司法大臣 六番

松村農林大臣 七番

前田文部大臣 八番

下村陸軍大臣 九番

吉田外務大臣 十番

堀切内務大臣 十一番

芦田厚生大臣 十二番

澁澤大藏大臣 十三番

田中運輸大臣 十四番

小笠原商工大臣 十五番

顧問官

南 顧問官 十八番

奈良顧問官 十九番

竹越顧問官 廿七番

伊澤顧問官 廿九番

泉二顧問官 卅一番

野村顧問官 卅三番

百武顧問官

卅四番

櫻内顧問官

卅五番

芳澤顧問官

卅六番

井坂顧問官

卅七番

河原顧問官

卅八番

關席員

親王

雍仁親王

一番

顧問官

窪田顧問官

十七番

松井顧問官

二十番

菅原顧問官

廿一番

潮顧問官

廿二番

林顧問官

廿三番

眞野顧問官

廿四番

大島顧問官

廿五番

小幡顧問官

廿六番

三土顧問官

廿八番

池田顧問官

三十番

平生顧問官

卅二番

宮内大臣

石渡宮内大臣

委員

橘橋法制局長官

入江法制局次長

佐藤法制局參事官

以上衆議院議員選舉法中改正法律案帝國議會へ提出ノ件外六件ニ付

坂内務次官

公式令中改正ノ件外一件ニ付

吉積陸軍省軍務局長

山本海軍省軍務局長

以上各省官制通則中改正ノ件外三件ニ付

佐藤司法省刑事局長

衆議院議員選舉法中改正法律案帝國議會へ提出ノ件外一件ニ付

大金宮内次官

加藤宮内大臣官房主管

三浦宮内省參事官

以上皇族身位令中改正ノ件外四件ニ付

報告員

清水審査委員長

衆議院議員選舉法中改正法律案帝國議會
へ提出ノ件外二件ニ付

南 審査委員長

各省官制通則中改正ノ件外三件ニ付

石黒書記官長

皇族身位令中改正ノ件外四件ニ付

書記官

諸橋書記官

高辻書記官

議長

平沼

之ヨリ會議ヲ開ク

衆議院議員選舉法中改正法律案帝國議會

へ提出ノ件

昭和十三年法律第八十四號中改正法律案

帝國議會へ提出ノ件

右二件ヲ一括シテ議題ニ供ス第一讀會ヲ開

キ朗讀ハ之ヲ省略シテ直ニ審査委員長ノ報

告ヲ求ム

報告員

(清水)

今回御諮詢ノ衆議院議員選舉法

中改正法律案帝國議會へ提出ノ件及昭和十

三年法律第八十四號中改正法律案帝國議會
へ提出ノ件ニ付本官等審査委員ヲ命ゼラレ
本月十九日以來數次委員會ヲ開キ當局大臣
及關係諸官ノ辯明ヲ聽キ以テ之ガ審査ヲ遂
ゲタリ
當局大臣ノ説明ニ依レバ現任衆議院議員ノ
任期ハ明年四月二十九日迄ニシテ翌三十日
ニハ總選舉行ハルル豫定ナルガ政府ニ於テ
ハ現下諸般ノ情勢ニ鑑ミ可及的速カナル機
會ニ衆議院ノ解散ヲ奏請シ衆議院議員ノ總

選舉ヲ執行スルコト緊要ト認ムル所ナリ而
シテ此ノ總選舉ハ終戦後最初ノ極メテ重大
ナル意義ヲ有スル選舉ナルガ現行選舉法ヲ
以テシテハ急轉セル新事態ニ即應セル自由
潤達ナル選舉ヲ執行シ遍ク國民ヲシテ其ノ
意思ヲ暢達セシメ清新ナル議會ノ形成ヲ期
スルニ充分ナラザルノ憾アリ仍テ此ノ際現
下ノ事態ニ即應セル選舉制度ノ根本的改正
ヲ斷行シ新選舉法ニ依リ明朗潤達ニシテ自
由公正ナル總選舉ヲ行ヒ眞ニ國民ノ總意ヲ

暢達スル新議會ヲ形成シ以テ立憲政治ノ健
全ニシテ強力ナル運営ヲ圖ルヲ喫緊ノ要務
ト認メ茲ニ本改正法律案ヲ起草シ之ヲ今期
ノ帝國議會ニ提出セントスルモノナリ而シ
テ改正法律案ノ骨子トスル所ハ第一選舉權
及被選舉權ノ擴張、第二大選舉區制及之ニ伴
フ制限連記投票制ノ採用、第三選舉運動取締
規定ノ徹底的簡素化ニ在リ即チ選舉權及被
選舉權ノ擴張ニ付テハ選舉權及被選舉權ノ
年齡ヲ夫々五年宛低下スルト共ニ新ニ女子ニ

モ男子ト同一ノ條件ヲ以テ選舉權及被選舉
權ヲ認ムルコトトセリ蓋シ教育文化ノ普及
狀況、一般民度ノ向上、特ニ大東亞戰爭中前線
銃後ヲ通ジテ示セル力強キ活動ノ實際ニ徴
シ今ヤ成年ニ達セル青年男女ハ齊シク國政
參與ノ能力ト責任觀念トニ於テ缺クル所ナ
キモノト謂フベク寧ロ此等ノ清新潑刺純真
熱烈ナル新有權者ノ政治ヘノ參與ニ依リ政
界ノ空氣ヲ一新シ新日本建設ノ新シキ政治
力形成ニ寄與セシメントス又選舉區ノ大小

ニ付キテハ夫々利害長短ノ存スル所ナルモ
大人物乃至新人ノ選出ニハ大選舉區制ヲ以
テヨリ適當ト認メラレ殊ニ戰災等ニ因リ人
口ノ異動ガ全國的ニ極メテ大規模ニ行ハレ
タル結果從來ノ選舉區ニ依リ今次ノ總選舉
ヲ執行スルハ妥當ナラザルニ由リ旁々今回
定員十五人以上ノ都道府縣ヲニ選舉區ニ分
ツノ外府縣單位ノ大選舉區制ヲ採用スルコ
トトシ且一部ノ選舉區ニ於テハ制限連記投
票制ヲ採用シ以テ投票ノ一部候補者ニ偏在

スルノ弊ヲ是正シ選舉人ノ議員候補者選擇
ノ餘地ヲ存セシムルコトト爲サント又現
行ノ選舉運動取締規定ハ選舉肅正ノ見地ヨ
リ選舉ニ伴フ各種ノ情弊ヲ防壓スルニ急ナ
ルノ餘リ周密複雑ヲ極メ時ニ社會ノ實情ニ
即セザル點ナシトセズ今回選舉權及被選舉
權ノ年齢低下、婦人參政權ノ實施等選舉ヲ國
民一般ニ廣ク開放セラレタルヲ機トシ能フ
限り規定ヲ單純簡明トシ選舉運動ヲ明朗濶
達ナルモノト爲サンガ爲特ニ選舉ノ公正ヲ

確保スルニ必要ト認めラルル戸別訪問ノ禁止、選舉事務ニ關係アル官吏吏員ノ選舉運動ノ禁止及選舉運動ノ費用ニ關スル制限ヲ除キ爾餘ノ制限ハ一切之ヲ廢止スルコトト爲サントス

次ニ本改正法律案ノ二件ニ於テ現行法ノ條規ニ變更ヲ加ヘントスル要旨ヲ述ブレバ大凡左ノ如シ

第一 衆議院議員選舉法中改正法律案帝國議會へ提出ノ件

(一) 選舉ニ關スル區域ニ付

(イ) 選舉區ニ關シテハ從前ノ所謂中選舉區制ヲ改メテ大選舉區制トシ選舉區及各選舉區ニ於ケル議員數ヲ改ム

(ロ) 開票區ハ從前郡市ノ區域ニ依リタルヲ改メテ原則トシテ市町村ノ區域ニ依ルモノトス

(二) 選舉權及被選舉權ニ付

從前帝國臣民タル男子ニシテ年齡二十五年以上ノ者ハ選舉權ヲ、年齡三十年以

上ノ者ハ被選舉權ヲ夫々有スルモノト
爲セルヲ改正案ニ於テハ年齢ヲ各五年
宛低下スルト共ニ女子モ男子ト同一ノ
條件ニテ選舉權及被選舉權ヲ有スルモ
ノトス

(三) 立會人ノ數ノ制限ニ付

改正案ニ於テハ投票立會人、開票立會人
又ハ選舉立會人ノ數ヲ制限スルコトト
シ議員候補者ヨリ届出タル此等ノ者ノ
數十人ヲ超ユルトキハ互選ニ依リ十人

ヲ決定スルモノトス

(四) 投票ニ付

改正案ニ於テハ選舉人ハ投票所ニ於テ
選舉スベキ議員ノ數五人以下ノ選舉區
ニ於テハ一人、六人以上十人以下ノ選舉
區ニ於テハ二人以内、十一人以上ノ選舉
區ニ於テハ三人以内ノ議員候補者ノ氏
名ヲ記載シテ投票スベキモノトシ及投
票ニ關スル無効ノ場合ヲ定ム

(五) 開票ニ付

改正案ニ於テハ開票管理者開票ノ際ニ於ケル投票及投票人ノ總數計算ノ手續ヲ廢止ス

(六) 當選承諾ノ期間ニ付

當選承諾ノ期間ハ當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内トセルヲ改メテ十日以内トス

(七) 選舉運動ニ付

改正案ニ於テハ戸別訪問及選舉事務ニ關係アル官吏吏員ノ其ノ關係區域内ニ

於ケル選舉運動ヲ禁止スルノ外從前ノ選舉運動ニ關スル制限ハ總テ之ヲ撤廢ス

(八) 選舉運動ノ費用ニ付

改正案ニ於テハ選舉事務長ノ制ヲ廢止セル爲選舉運動ノ費用支出ニ關スル選舉事務長ノ職務ヲ行ハシムル爲支出責任者ノ制ヲ設ケ其ノ職務等ヲ定ム

(九) 罰則ニ付

改正案ニ於テハ選舉ニ關シ氣勢ヲ張ル

行為ニ關スル罰則、選舉ニ關スル不正行為ヲ煽動スル行為ニ關スル罰則及選舉事務長又ハ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ノ法定選舉費用額ヲ超エテ支出シタル場合ニ於ケル罰則ヲ廢止シ選舉運動ノ費用ノ不法支出ノ罪ニ付罰金ヲ加ヘテ禁錮刑トノ選擇刑ト爲ス

(十)臨時特別ノ措置トシテ

(イ)戸籍法ノ適用ヲ受ケザル者(朝鮮人及臺灣人)ノ選舉權及被選舉權ハ當分ノ

内之ヲ停止スルモノトシ此等ノ者ハ選舉人名簿ニ登録セラルルコトヲ得ザルモノトス

(ロ)昭和二十年十二月二十日以後昭和二十一年十二月十九日迄ノ間ニ行ハルル選舉ニ關シテハ禁治産者、刑餘者等ノ如キ選舉人名簿ニ登録セラルルコトヲ得ザル者、選舉人名簿ニ誤載セラレ投票ヲ爲スモ之ヲ理由トシテ選舉訴訟又ハ當選訴訟ヲ提出スルコトヲ

得ザルモノトス

(ハ)無料郵便ノ制度ハ次ノ總選舉ニ限り

之ヲ停止スルモノトス

(ニ)沖繩縣、北海道廳根室支廳管内ノ島嶼

竝ニ海上交通杜絶其ノ他特別ノ事情

アル地域ニシテ勅令ヲ以テ指定スル

モノニ於テハ勅令ヲ以テ定ムル迄選

舉ハ之ヲ行ハザルモノトス

第二 昭和十三年法律第八十四號中改正法

律案帝國議會へ提出ノ件

從前衆議院議員又ハ地方議會ノ議員ノ選

舉ヲ行フ場合ニ於テ大東亞戰爭ニ際シ召

集中ナルニ因リ選舉人名簿ニ登録セラレ

ザリシ者ニシテ召集ヲ解除セラレタルモ

ノアルトキハ市區町村長等ノ名簿調製義

務者ハ臨時ニ其ノ者ノ選舉人名簿ヲ調製

スベキモノトセルガ今回本改正法律案ヲ

以テ更ニ此ノ範圍ヲ擴張シ(一)現役陸海軍

軍人ナルニ因リ選舉人名簿ニ登録セラレ

ザリシ者ニシテ歸休ヲ命ゼラレ又ハ現役

ニ服セザルニ至リタルモノ(二)兵籍ニ編入
セラレタル學生生徒ナルニ因リ選舉人名
簿ニ登録セラレザリシ者ニシテ當該學生
生徒タラザルニ至リタルモノ(三)衆議院議
員選舉法施行地域ニ住居ヲ有セザルニ因
リ衆議院議員選舉人名簿ニ登録セラレザ
リシ者ニシテ同法施行地域ニ住居ヲ有ス
ルニ至リタルモノニモ之ヲ及ボスコトト
爲サントス

尚審査委員會ニ於テハ選舉權被選舉權ノ擴

張ノ範圍大選區制ノ採用選舉運動ニ關ス
ル制限ノ撤廢ノ程度等ニ關シテ質疑ヲ重ネ
之ニ對シテハ當局ヨリ夫々前述ノ趣旨ヲ敷
行シ世界各國ノ事例等ヲモ説明シテ答辯ア
リ又今回ノ改正案ニ於テ觸レラレザリシ選
舉運動ノ費用制限ノ要否其ノ他二三ノ點ニ
關スル質問ニ際シテハ次ノ總選舉後ノ適當
ナル時期ニ於テ選舉法ノ更ニ根本的ナル再
檢討ノ行ハルベキコトヲ期待シ其ノ場合ニ
於テ此等ハ考究スルヲ適當ト認ムル旨ノ答

辯アリタリ

按ズルニ終戦後ノ急轉セル事態ニ即應セシムル爲國民ノ自由濶達ナル意思ヲ暢達セシメ以テ政界ノ刷新ヲ圖ルハ刻下ノ急務ナリト謂フベシ而シテ本改正法律案二件ハ右ノ要請ニ應ジ衆議院議員選舉法等ノ規定ニ劃期的改正ヲ加ヘントスルモノニシテ其ノ趣旨ニ於テ不可ナク其ノ條項ニ付テモ別ニ支障ノ虞ナキニ由リ本案ハ之ヲ今期ノ帝國議會ニ提出スルモ亦支障ナキモノト思料ス仍

テ審査委員會ニ於テハ本案ノ二件ハ此ノ儘之ヲ可決セラレ然ルベキ旨全會一致ヲ以テ議決シタリ

右審査ノ結果ヲ報告ス

議長(平沼) 別ニ御發言ナキ故第二讀會以下ヲ

省略シテ直ニ採決スベシ本案贊成ノ各位ノ起立ヲ請フ

(全員起立)

議長(平沼) 全會一致可決セラレタリ

○